

地層の区分

袖ヶ浦4・5・6丁目地域の地盤構成は、上部より、盛土・埋土層 (B)、沖積砂質土層 (As1) もしくは沖積粘性土層 (Ac1)、洪積砂質土層 (Ds1) で構成され、ほぼ水平に堆積しています。

最上部の盛土・埋土層 (B) は、砂質土を主体としており、地域全体を覆っています。

沖積砂質土層 (As1) と沖積粘性土層 (Ac1) は、一部で互層状になっており、京葉道路付近～海側にみられます。

表-1 土質層序表

時代		土質名	土質	記号	特徴
第四紀	完新世	盛土・埋土層	砂質土	B	全体に砂質土主体
		沖積砂質土層	細砂 シルト質細砂	As1	粒径が細かく均一な砂を主体とし、少量の貝殻細片を混入する
		沖積粘性土層	砂混じりシルト 砂質シルト	Ac1	均質なシルト 全体に粒径の細かい砂を混入する
	更新世	洪積砂質土層	細砂	Ds1	粒径が細かく均一な砂からなる 所々細粒分を多く混入する

各地層の特徴

・ 盛土・埋土層 (B)

盛土層は、一番表層にあり、粒径細かく均一な砂からなり、細粒分をほとんど混入していません。

埋土層は、浚渫土ともいわれており粒径の細かい砂を主体とし貝殻片を含んでいます。

・ 沖積砂質土層 (As1)

全体的に粒径が細かく均一な砂になっており、少量の貝殻細片を混入していません。深部は、砂の粒径がやや不均一となり貝殻片の混入量が多くなります。

・ 沖積粘性土層 (Ac1)

シルトを主体とし、上部は砂分を全体に多く混入する。

下部は、均質なシルトからなり、全体に少量の貝殻片と砂分が混入しています。

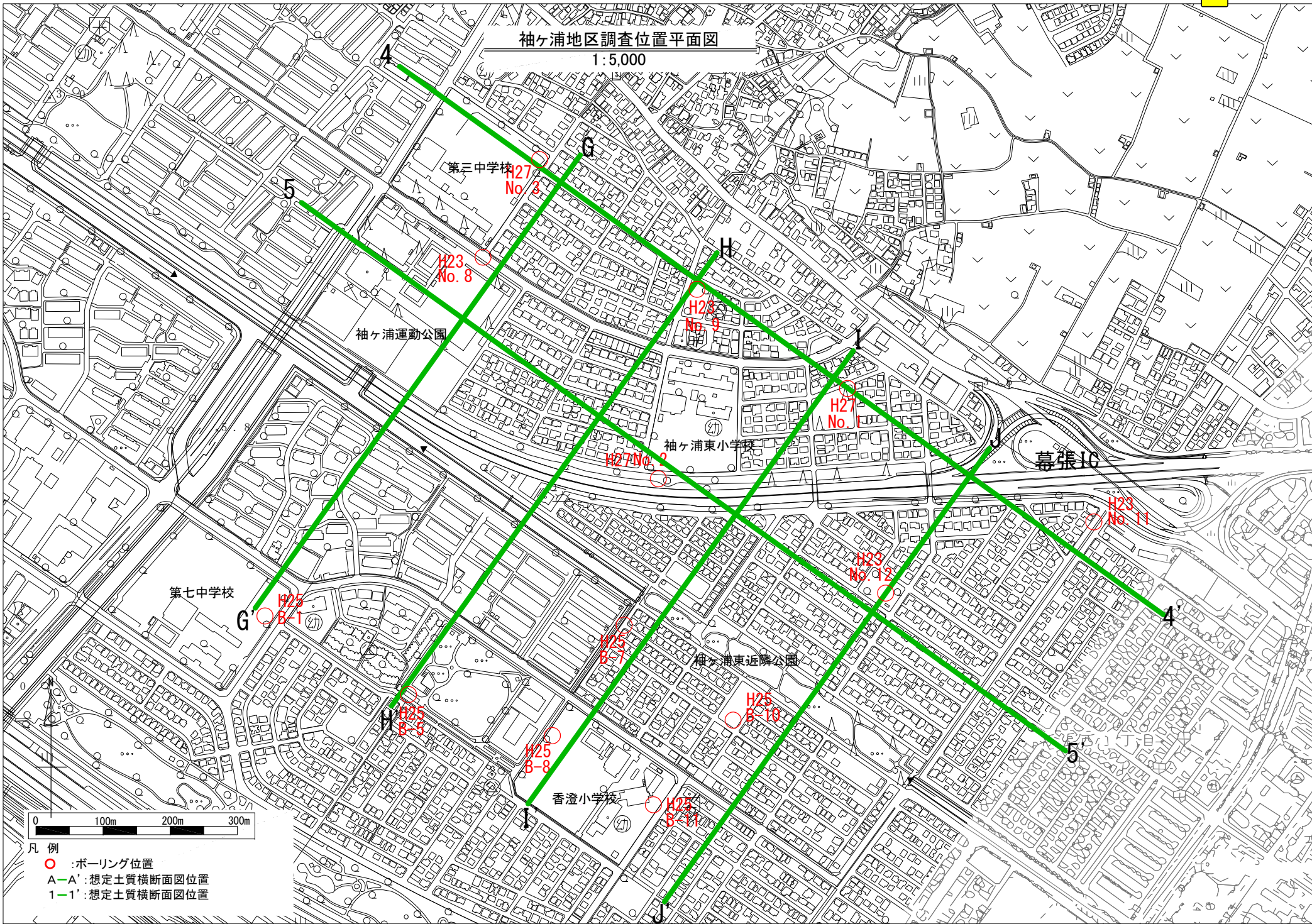
・ 洪積砂質土層 (Ds1)

粒径の細かい均一な砂を主体としていますが、所々、細粒分（粘土分+シルト分）が多く混入しています。



袖ヶ浦地区調査位置平面図

1:5,000



第三中学校
H27
No. 3

H23
No. 8

袖ヶ浦運動公園

H27
No. 9

袖ヶ浦東小学校

H27
No. 10

H27
No. 11

幕張10

H23
No. 11

第七中学校

H25
No. 1

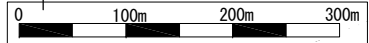
袖ヶ浦東近隣公園

H25
No. 7

H25
No. 10

香澄小学校

H23
No. 11



- 凡例
- : ボーリング位置
 - A-A' : 想定土質横断面図位置
 - 1-1' : 想定土質横断面図位置

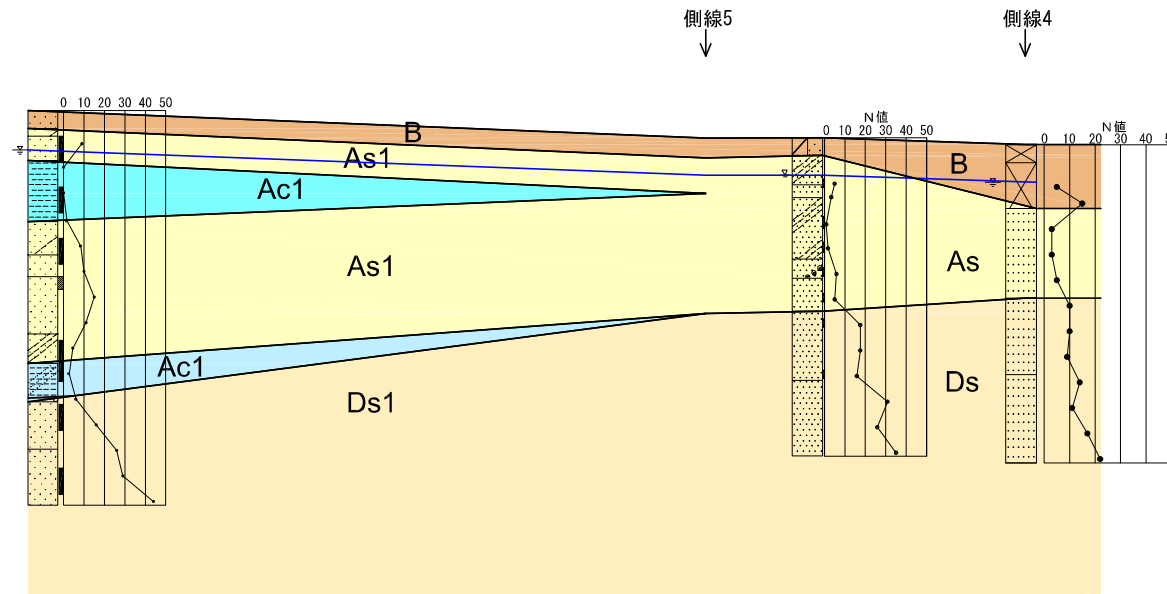
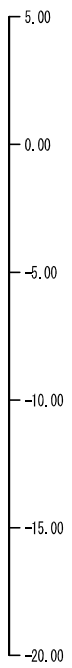
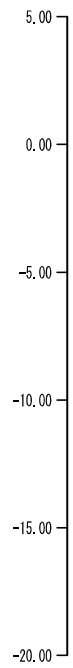
想定土質横断面図 (測線G-G')
縦1/200 横1/4,000

(海側)G' ←

→ G (陸側)

標高 (TPm)

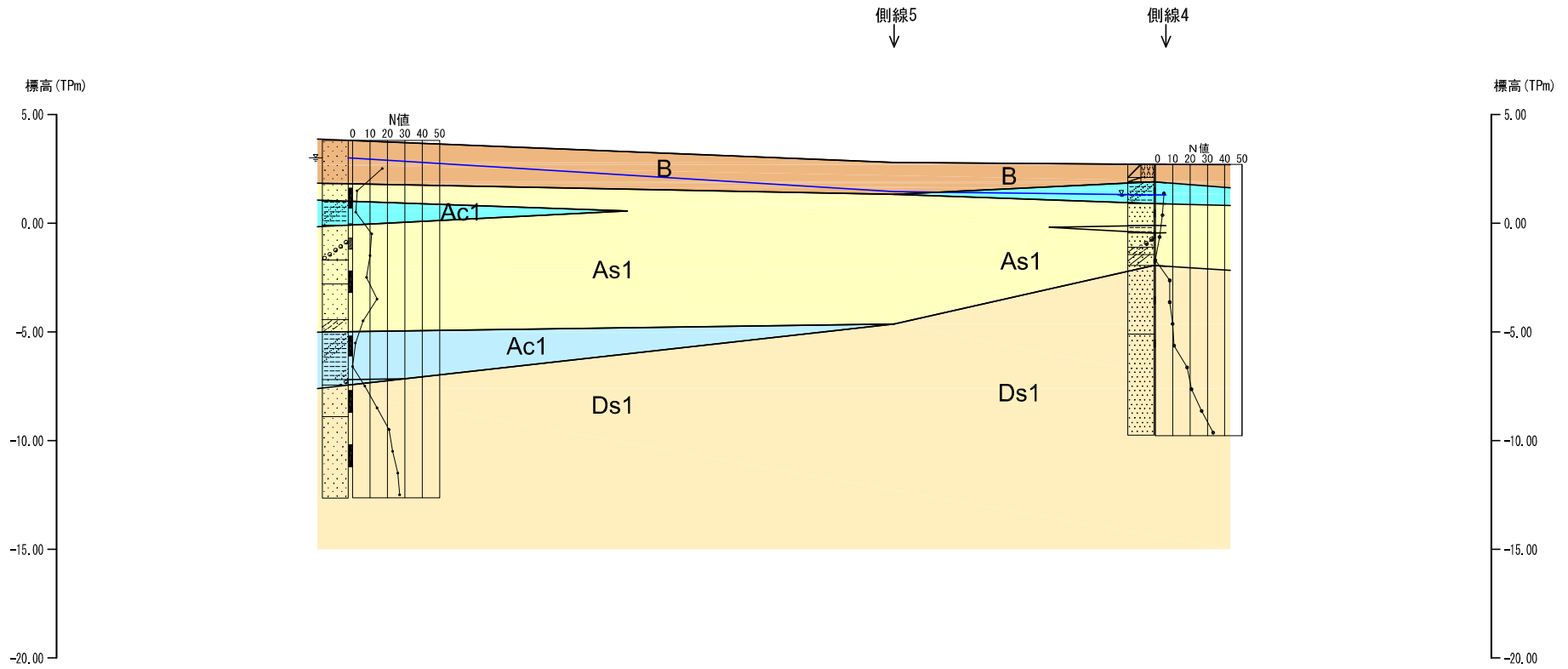
標高 (TPm)



想定土質横断面図 (測線H-H')
縦1/200 横1/4,000

(海側) H' ←

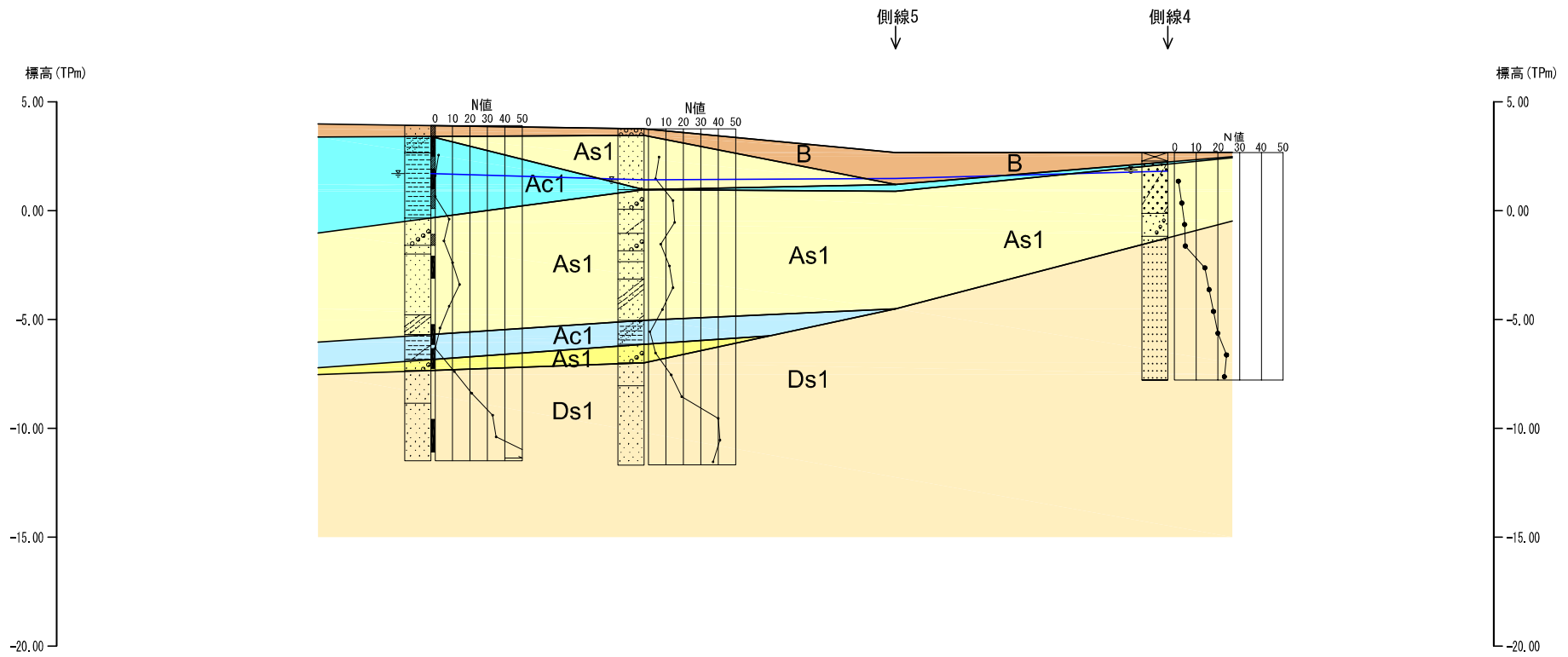
→ H (陸側)



想定土質横断面図 (測線I-I')
縦1/200 横1/4,000

(海側) I' ←

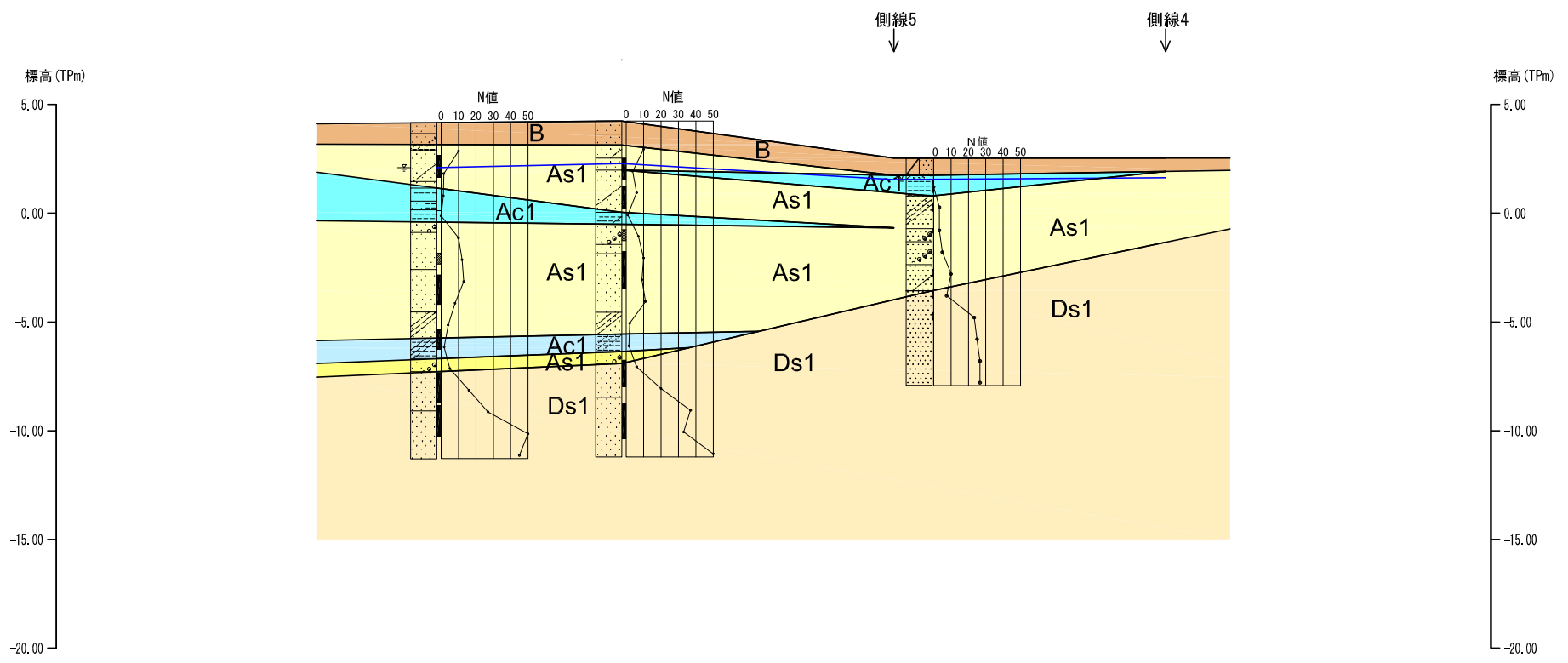
→ I (陸側)



想定土質横断面図 (測線J-J')
 縦1/200 横1/4,000

(海側) J' ←

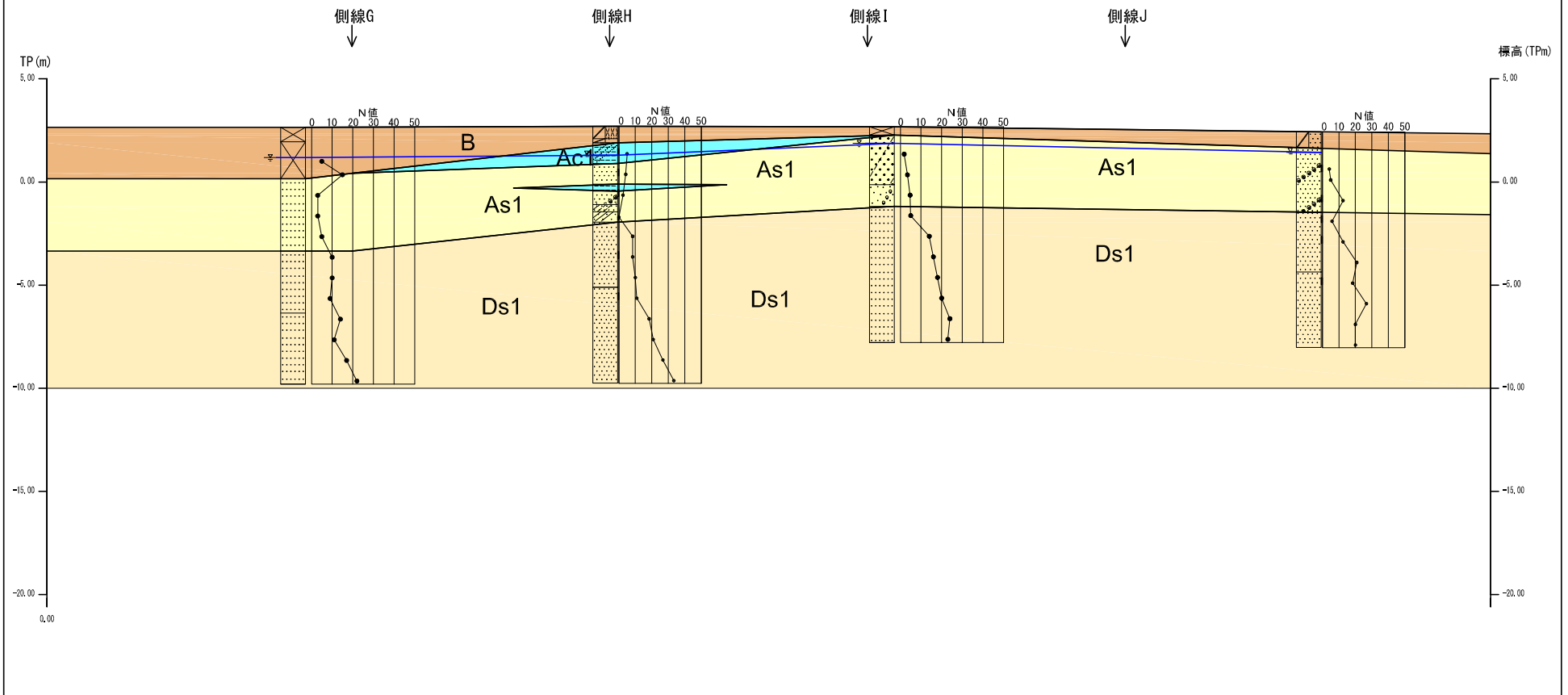
→ J (陸側)



想定土質横断面図 (測線4-4')
縦1/200 横1/4,000

(西側) 4 ←

→ 4' (東側)



想定土質横断面図 (測線5-5')
縦1/200 横1/4,000

(西側) 5 ←

→ 5' (東側)

